

(様式3)

公共事業再評価調査

番 号	道路—1	事業担当局課	道路局 建設課		
事業名	都市計画道路環状3号線(南戸塚地区 外2)		採択年度	S62	
施工場所	戸塚区戸塚町～汲沢町		経過年数	32年	
目的及び 事業概要	<p>目的</p> <p>都市計画道路環状3号線は、本市の幹線道路網の骨格となる環状道路の一つに位置付けられており、磯子区杉田五丁目から都筑区佐江戸町までの延長約28kmの重要な幹線道路です。本地区の完成により、国道1号と国道16号がつながることに加え、整備を進めている横浜環状南線(圏央道)の(仮)戸塚ICと接続することから、本市南部地域と湘南方面の連絡が強化され、交通利便性の向上や災害時の道路輸送の機能強化が図られます。合わせて、交通の転換により周辺地域の住環境向上が図られます。</p> <p>なお、本事業の再評価は平成15年度に南戸塚地区を実施し、16年度に戸塚地区、19年度に汲沢地区と3地区ごとに実施しましたが、平成20年度より3地区まとめて実施しています。</p> <p>事業概要</p> <p>本線 : 計画延長2,030m、幅員22m(往復4車線)</p> <p>接続ランプ: 計画延長610m、幅員12.5m(往復2車線)、用地面積59,128㎡</p>				
		当 初(事業採択時)	前回(平成24年度)	変 更(平成29年度)	
	事業期間		昭和62年度～平成27年度	昭和62年度～平成29年度	昭和62年度～平成35年度
	事業費	合 計	23,455百万円	26,011百万円	27,174百万円
		国 費	11,728百万円	13,006百万円	13,587百万円
		市 費	11,727百万円	13,005百万円	13,587百万円
	変更内容	事業実施段階で詳細に検討した結果、擁壁工事等で事業費が増加しました。また、用地交渉が難航していて、事業に多くの時間を要しているため事業期間を変更しました。			
	上位計画等	<p>環状3号線の整備は、「横浜市中期4か年計画2018～2021」に掲げられた6つの戦略の中で、「未来を創る強靱な都市づくり～市民生活と経済活動を支える都市基盤～」に位置付けられており、市民生活や経済活動を支えるための政策「交通ネットワークの充実による都市インフラの強化」を達成する事業の1つとして期待されています。</p> <p>また「横浜市地震防災戦略」では、緊急輸送路となる幅員18m(4車線相当)以上の幹線道路の整備を進めるとしており、市内陸部と臨海部との連絡を強化することにより、災害時における消火活動や救命活動、緊急物資の輸送機能を確保し、市民の安全性の向上を図ります。</p>			
関連事業	特になし				
事業の 必要性	事業を巡る 社会経済情 勢等の変化	<p>国道16号と国道1号が本路線を介しつながることで、本市臨海部との連絡強化により、災害時の広域的な避難路・緊急輸送路としての機能が期待されています。</p> <p>また本路線は、整備を進めている横浜環状南線(圏央道)のICである(仮)戸塚ICにアクセスする路線であり、ICアクセス性の向上が期待されていることから、事業の必要性が高まっています。</p>			

事業の 投資効果 ・ 事業効果等 (費用便益分析等)			事業全体	残事業
	割引率		4% (2%)	
	総便益(B)		939.0 億円 (1473.8 億円)	436.7 億円 (685.0 億円)
	総費用(C)		436.6 億円 (300.2 億円)	51.7 億円 (53.0 億円)
	費用便益比 (B/C)		2.2 (4.9)	8.5 (12.9)
	感度分析 [交通量-10%]		1.4 (3.2)	5.5 (8.5)
<p>[定性的効果]</p> <p>これまで住宅地域に入り込んでいた通過交通を本路線へ転換させることができ、住宅地域の住環境が向上するとともに、国道 16 号から国道 1 号までの本市南部地域の交通機能が強化されるとともに、災害時の緊急輸送路としての効果が期待できます。</p> <p>[その他特記事項]</p>				

事業の 進捗 状況	事業進捗率%	平成 29 年度末までの用地取得進捗率は 88%、事業進捗率は 75%となっております。 平成 16 年 7 月に計画延長約 2,640mのうち東側区間約 850mを開通しています。 残事業として西側 1,790mの用地取得と整備があります。本事業で国道 1 号へ接続することで、本市南部地域の交通機能が強化され、これまでの事業効果を最大限に発揮することができます。
	75%	
	用地取得率%	
	88%	
	供用等の状況	
	東側を供用済み	
事業の課題 及び進捗 見込み	<p>横浜環状南線の供用に合わせ事業を推進する中で、収用手続きにより平成 29 年度に用地取得が完了した、国道 1 号下り線までの区間について、早期に部分供用をする予定です。</p> <p>また、国道 1 号との立体交差部のトンネル施工検討及び、上り線に接続する支線部にある管理型産業廃棄物最終処分場跡地の検討を行い、用地取得と並行しながら施工可能な部分の工事を進めます。</p>	
その他 (コスト縮減項目等)	<p>舗装、構造物の築造等については、設計の段階から可能な限り工事費の縮減に努めるとともに、長寿命化の検討を行い、維持修繕が容易な構造とする等、維持管理費の縮減に努めます。工事施工においても、建設発生土の工事間流用を行い、運搬費及び残土処分費のコスト縮減を行うとともに、舗装、構造物の基礎等について再生材を使用する等、可能な限りコスト縮減に努めます。</p>	
その他	—	
添付資料	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	

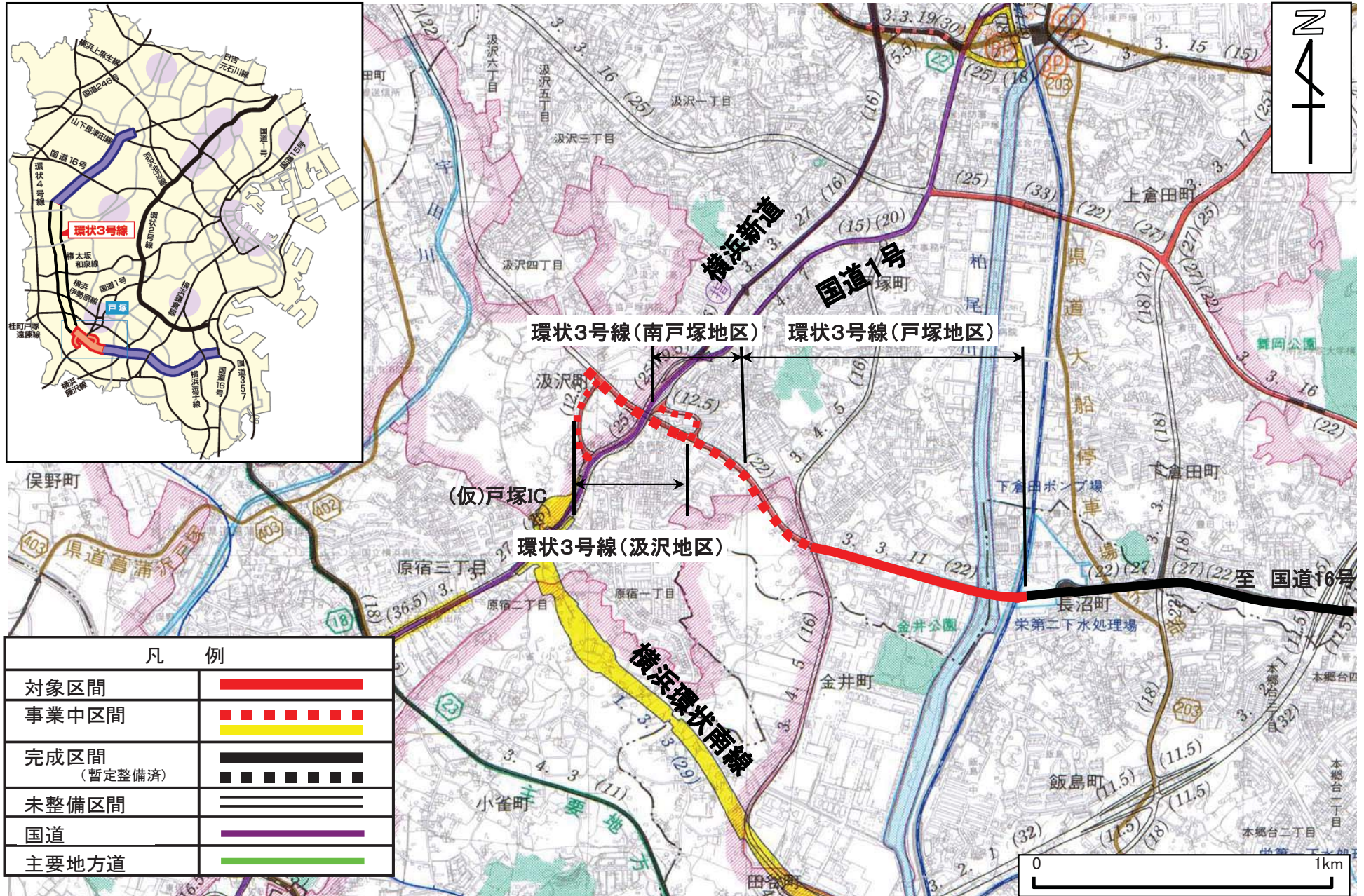
対応方針 (案)		計画通り(上記計画を実施) ※1
	継続	一部見直し(上記計画を変更) ※2 ----- 【見直し内容】
	中止	

対応方針 (案) として理由	<p>現在、環状3号線は本市臨海部から本事業箇所までは、整備が完了していますが、湘南方面に連絡する主要道路に接続されていないため、整備効果が十分に発揮されていない状況です。</p> <p>そこで、本事業の実施により、国道1号に接続することで、本市南部地域の交通機能が強化され、沿道地域の活性化や物流の円滑化が期待されます。また、これまで周辺の住宅地域に入り込んでいた通過交通が環状3号線に転換することで、住宅地域における安全性や住環境が向上します。さらに、横浜環状南線（圏央道）の（仮）戸塚ICにアクセスする路線として、ICアクセス性の向上が期待されることから、事業を継続して実施する必要があると判断しています。</p>
-------------------	--

※1：既に見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。前の再評価で「継続(一部見直し)」の事業についても、その見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。

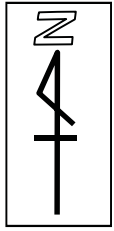
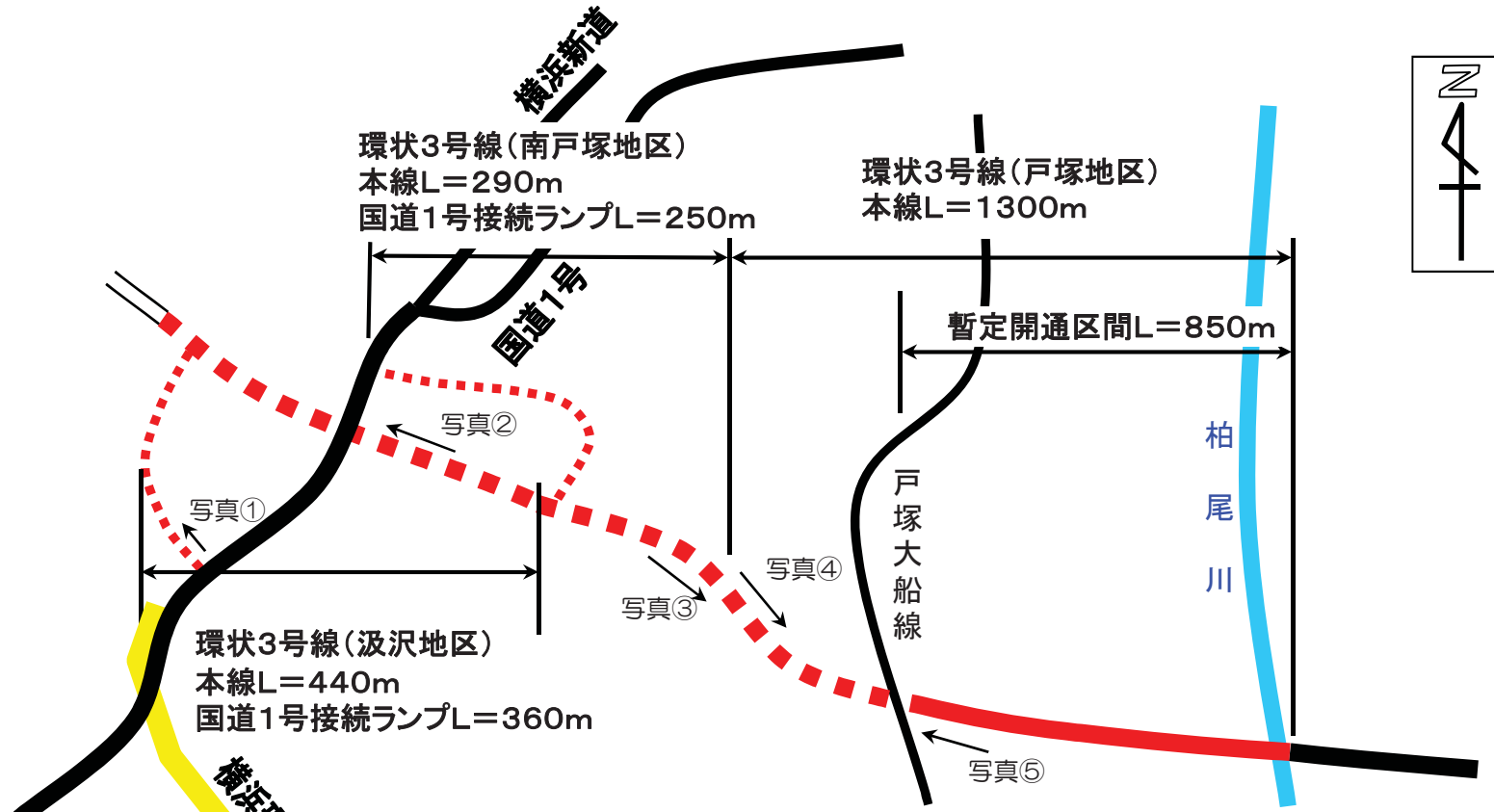
※2：今後、見直しを行うことが確定している事業は、こちらを選択し、見直し内容を記載してください。

都市計画道路環状3号線(南戸塚地区 外2)

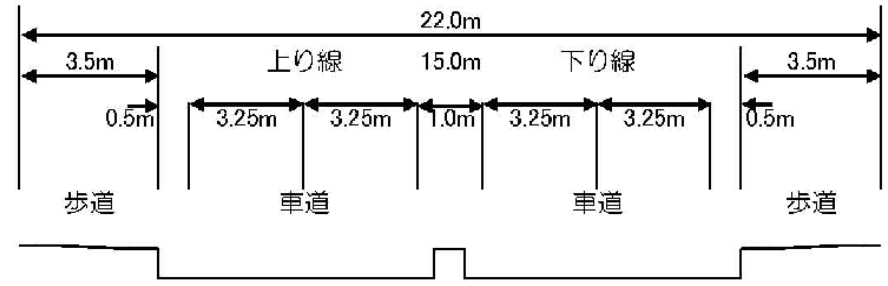


凡 例	
対象区間	
事業中区間	
完成区間 (暫定整備済)	
未整備区間	
国道	
主要地方道	

都市計画道路環状3号線(南戸塚地区 外2)



標準部断面図



凡 例	
対象区間	
事業中区間	
完成(概成)区間	
未整備区間	



歩道

歩道

事業区域



歩道

歩道

BOXカルバート

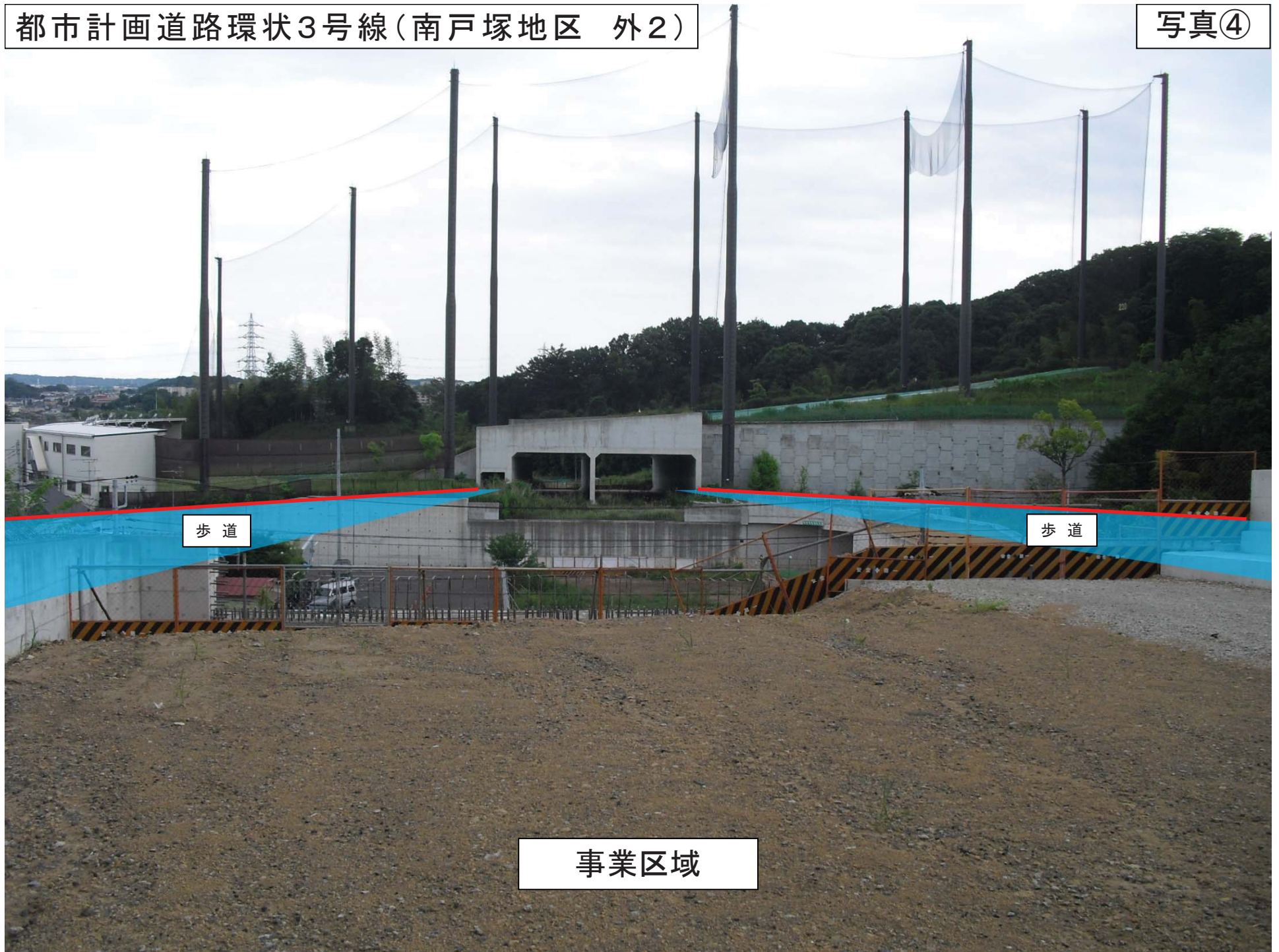
事業区域



歩道

事業区域

歩道



歩道

歩道

事業区域



事業進捗状況

環状3号線（南戸塚地区 外2）

(単位：百万円)

年度	単年度事業費			累計事業費			事業進捗率			用地取得		
	合計	用地・補償	工事・委託	合計	用地・補償	工事・委託	合計	用地・補償	工事・委託	取得面積(m ²)	累計(m ²)	用地取得率
S62	390	380	10	390	380	10	1.4%	1.4%	0.0%	4,167	4,167	7.0%
S63	302	256	46	692	636	56	2.5%	2.3%	0.2%	1,499	5,666	9.6%
H1	915	880	35	1,607	1,516	91	5.9%	5.6%	0.3%	3,683	9,349	15.8%
H2	753	677	76	2,360	2,193	167	8.7%	8.1%	0.6%	3,658	13,007	22.0%
H3	307	56	251	2,667	2,249	418	9.8%	8.3%	1.5%	0	13,007	22.0%
H4	365	83	282	3,032	2,332	700	11.2%	8.6%	2.6%	126	13,133	22.2%
H5	530	218	312	3,562	2,550	1,012	13.1%	9.4%	3.7%	518	13,651	23.1%
H6	808	460	348	4,370	3,010	1,360	16.1%	11.1%	5.0%	1,381	15,032	25.4%
H7	1,342	866	476	5,712	3,876	1,836	21.0%	14.3%	6.8%	2,906	17,938	30.3%
H8	1,269	1,036	233	6,981	4,912	2,069	25.7%	18.1%	7.6%	3,054	20,992	35.5%
H9	1,241	906	335	8,222	5,818	2,404	30.3%	21.4%	8.8%	1,055	22,047	37.3%
H10	956	593	363	9,178	6,411	2,767	33.8%	23.6%	10.2%	3,113	25,160	42.6%
H11	1,796	1,216	580	10,974	7,627	3,347	40.4%	28.1%	12.3%	3,016	28,176	47.7%
H12	1,367	430	937	12,341	8,057	4,284	45.4%	29.6%	15.8%	2,367	30,543	51.7%
H13	586	114	472	12,927	8,171	4,756	47.6%	30.1%	17.5%	682	31,225	52.8%
H14	1,272	803	469	14,199	8,974	5,225	52.3%	33.0%	19.2%	2,980	34,205	57.8%
H15	656	112	544	14,855	9,086	5,769	54.7%	33.4%	21.2%	358	34,563	58.5%
H16	563	245	318	15,418	9,331	6,087	56.7%	34.3%	22.4%	927	35,490	60.0%
H17	597	173	424	16,015	9,504	6,511	58.9%	35.0%	24.0%	504	35,994	60.9%
H18	265	58	207	16,280	9,562	6,718	59.9%	35.2%	24.7%	144	36,138	61.1%
H19	244	2	242	16,524	9,564	6,960	60.8%	35.2%	25.6%	0	36,138	61.1%
H20	103	38	65	16,627	9,602	7,025	61.2%	35.3%	25.9%	85	36,223	61.3%
H21	326	181	145	16,953	9,783	7,170	62.4%	36.0%	26.4%	2,892	39,115	66.2%
H22	686	352	334	17,639	10,134	7,504	64.9%	37.3%	27.6%	3,672	42,787	72.4%
H23	1,317	1,213	104	18,956	11,348	7,608	69.8%	41.8%	28.0%	3,322	46,109	78.0%
H24	632	30	602	19,588	11,378	8,210	72.1%	41.9%	30.2%	3,378	49,487	83.7%
H25	414	1	413	20,002	11,379	8,623	73.6%	41.9%	31.7%	8	49,495	83.7%
H26	154	39	115	20,156	11,418	8,738	74.2%	42.0%	32.2%	223	49,718	84.1%
H27	27	0	27	20,183	11,418	8,765	74.3%	42.0%	32.3%	1,244	50,962	86.2%
H28	6	0	6	20,189	11,418	8,771	74.3%	42.0%	32.3%	0	50,962	86.2%
H29	222	94	128	20,411	11,512	8,899	75.1%	42.4%	32.7%	1,003	51,965	87.9%
合計	20,411	11,512	8,899							51,965		

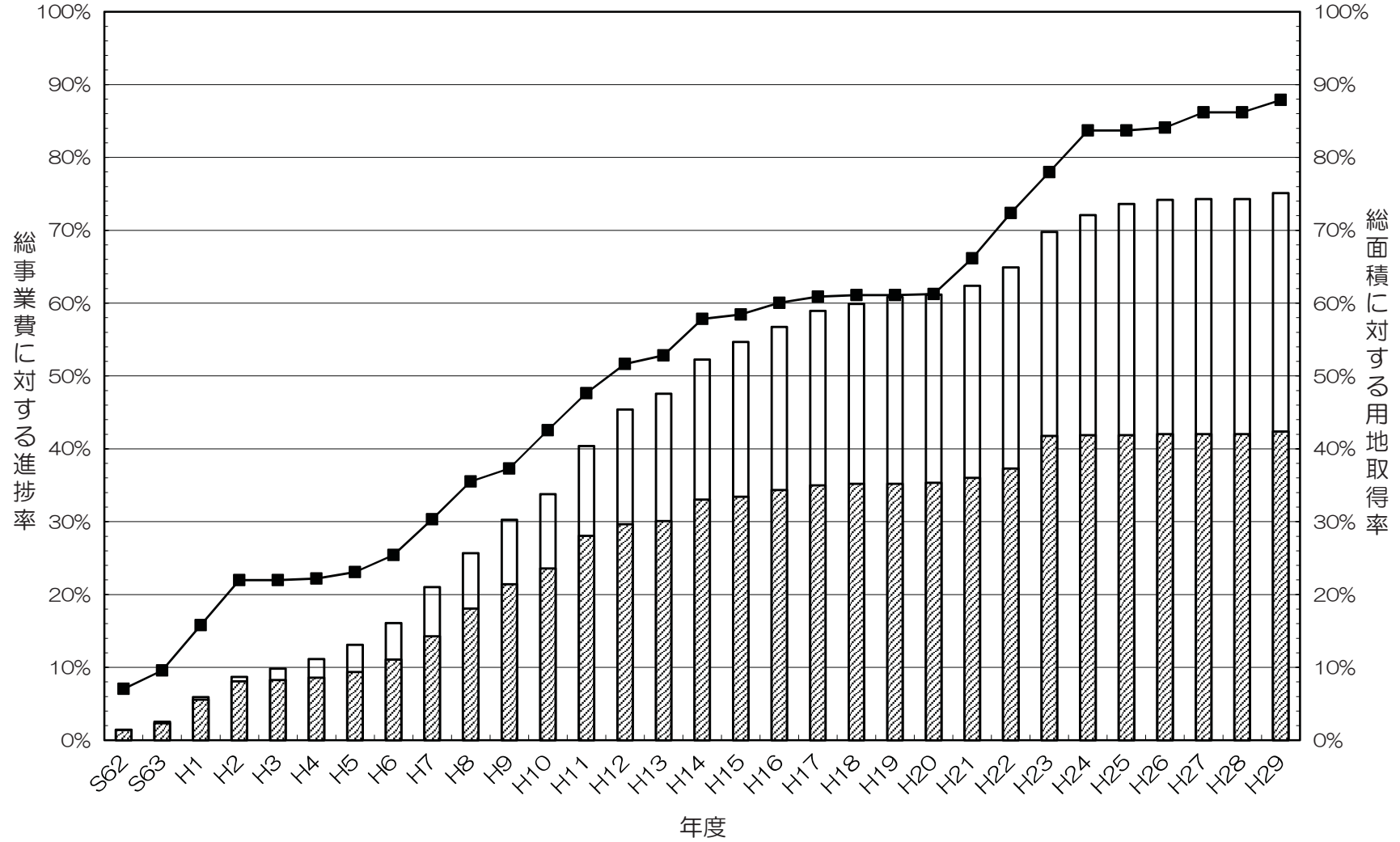
※1 事業進捗率（合計）は全体事業費（様式3参照）に占める各年度までの用地補償費と工事委託費の和

※2 事業進捗率（用地補償、工事委託）は全体事業費に占める各年度までの用地補償費もしくは工事委託費の割合

※3 用地取得率は事業全体の取得面積（様式3参照）に占める各年度までの取得面積の割合

事業進捗状況

環状3号線（南戸塚地区 外2）



前回再評価内容との比較 環状3号線（南戸塚地区 外2）

	前回（H25）	今回（H30）	5年間の経過
事業を巡る社会経済情勢等の変化	東日本大震災の発生により、緊急輸送路の整備が急がれており、特に環状3号線の整備により磯子区の国道16号から国道1号までの本市南部地域の交通機能の強化が期待されることから、本事業の必要性が高まっています。	本路線を介し、国道16号と国道1号が接続されることで、本市臨海部との連絡強化により、災害時の広域的な避難路・緊急輸送路としての機能が期待されています。また本路線は、横浜環状南線（圏央道）のICである（仮）戸塚ICにアクセスする路線であり、ICアクセス性の向上が期待されていることから、事業の必要性が高まっています。	広域的な避難路・緊急輸送路の機能強化及び横浜環状南線の（仮）戸塚ICへのアクセス性向上が期待される環状3号線整備の必要性が高まっています。
事業進捗率	72%（75%）	75%	+3%
用地取得率	84%（83%）	88%	+4%
供用等の状況	暫定開通区間約850m	暫定開通区間約850m	—
事業の進捗見込	本事業に対し地権者の理解が得られないため、用地交渉が難航しており、事業が遅れていますが、今後は収用を進めながら用地取得を行います。 また、用地取得と並行しながら施工可能な部分の工事を進め、特に時間のかかる構造物の築造を行います。 国道1号との接続については、国や警察と協議しながら施工方法を検討して工事を行い、平成29年度に完成する予定です。	横浜環状南線の供用に合わせ事業を推進する中で、収用手続きにより平成29年度に用地取得が完了した、国道1号下り線接続までの区間について、早期に部分供用をする予定です。 また、国道1号との立体交差部のトンネル施工検討及び、上り線に接続する支線部にある管理型産業廃棄物最終処分場跡地の検討を行い、用地取得と並行しながら施工可能な部分の工事を進めます。	戸塚地区において、事業に対し地権者の理解が得られず、用地交渉が難航していましたが、収用手続きを実施し、平成29年度に用地取得をしました。また、施工可能な部分において、補強土壁等の築造を完了させました。
前回委員会での主な意見等	特になし		

※前回再評価から全体事業費が変更されている場合、前回時点での事業進捗率が変化してしまうため、参考として前回使用した事業進捗率を（ ）で示した。